

貸金（主たる債務者＋保証人：記載例）

（注）□欄は、該当事項にレ点を付すか、又は、■に反転させる。

請 求 の 趣 旨

- 被告は、被告らは、連帯して、原告に対し、次の金員を支払え。
 - 金 300,000円（元本）
 - 確定利息金 円 確定遅延損害金 円
上記金額に対する令和 年 月 日から令和 年 月 日まで 年 パーセントの割合による金員
 - 上記(1)の金額に対する
令和 5年 9月 26日から
訴状送達の日から
支払済みまで年●パーセントの割合による金員
- 訴訟費用は、被告 被告ら の負担とする。
- この判決は、仮に執行することができる。

紛争の要点（請求の原因）

- 原告は、被告 被告 乙山二郎 に対し、次のとおり金員を貸し渡した。
 - 貸付日と金額
令和 5年 7月 1日 金 500,000円
令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
合計金 円（□別紙記載のとおり）
 - 返済期の定め あり
令和 年 月 日
令和 5年 7月 25日から令和 5年 11月 25日
まで毎月 25日限り金 100,000円の分割払い
別紙のとおり
なし
 - 特 約 利息 (年 パーセント)
遅延損害金 (年 ●パーセント)
期限の利益喪失の定めあり
(内容 借主が貸主に対する支払を1回でも怠ったときは、期限の利益を失う。)
- 被告 丙田三郎 は上記契約を連帯保証した。（書面あり）
- 返済状況 返済あり
令和 年 月 日 金 円
令和 5年 7月 25日から令和 5年 8月 25日
まで合計金 200,000円（□別紙記載のとおり）
全く返済なし
- 期限の利益喪失日 令和 5年 9月 25日
- その他参考事項

添 付 書 類

- 法人登記事項証明書（資格証明書） 契約書 借用書 念書 メモ